

## 第44回福島県

# 消防操法大会

8月28日、第44回福島県消防操法大会が福島市の福島県消防学校で開催され、川俣町からは川俣町消防団

第2分団が出場しました。

この大会は、消防団員の消防技術の向上を目的に開催されるもので、操作の正確さや操法の速さなどで順位が決められる大会です。

第2分団の皆さんはこの日のために1年にわたり早朝や仕事後に練習を積み重ねてきました。

結果より大切なものを  
みんなで手に入れた夏

3年ぶりの開催となった操法大会に向け川俣町消防団第2分団は1年にわたって操法の錬磨に励んできました。毎週暗くなつてから始まる練習は団員の操法技術、そしてチームとしての結束力を高めていきました。悪天候の中、出場順番1番という大役で始まった操法本番。1年にわたって練習してきた団

員たちの手足は緊張で震えていました。

しかし、団員たちは1年間一緒に練習してきた仲間を信じて笑顔で操法を終えました。

結果は目標に及ばなかったものの、団員たちはこの1年間、練習を積み重ね、今までよりも一層強い絆で結ばれました。





# INTERVIEW

## 出場団員へのインタビュー



1 年間、周りの人に協力してもらいながらここまでやってくることができて、今日は悔いのない操法が出来ました。このメンバーと操法が出来て私はとても幸せです。

※指揮者優秀選手賞受賞

指揮者 小柳 一幸 さん (中島)



約 1 年間、練習した成果が出せたと思います。操法大会の経験を生かして、今後の消防活動に精進していきたいと思いますので今後とも応援よろしくお願いします。

1 番員 佐藤 秀貴 さん (宮町)



— の操法大会に向け 1 年間練習してきましたが、緊張してしまい思い通りにできなかった部分もありました。それが現場の難しさだと思うので今後も訓練に励みたいと思います。

2 番員 丹野 峻吾 さん (宮ノ脇)



— こでしか感じることでしかない緊張感やメンバーとの団結力を高められたことはいい経験になったと思います。結果は残せませんでしたが練習してきたことが全て出せました。

3 番員 氏家 聖 さん (小神)



練習してきて身に付けた力を全て出し切れたと思います。メンバーも力を十二分に発揮できたと思いますし、参加出来たこと、このような経験ができたことが良かったと思います。

4 番員 永沼 尚 さん (五百田)



1 年間ずっとみんなの操法を後ろから支えてきましたが本番はどの操法よりも緊張が伝わってきました。練習はとても大変でしたが第 2 分団の絆が強くなって良かったと思います。

補助員 森谷 匡斗 さん (福島市)

